

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290900057		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート西船橋		
所在地	千葉県船橋市西船2-34-20		
自己評価作成日	平成27年2月3日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成27年2月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様が安心して生活できるよう、スタッフの明るい笑顔と誠意ある対応で安心を提供できるよう心がけております。  
 当地域には自治会がありませんので、小規模多機能のお客様とグループホームのお客様が交流したり、近隣の小学校の生徒さんと定期的に交流するなど、出来るだけ、人と人、人と地域が触れ合える環境を作り、ハリのあるご生活を送って頂けるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

お客様・ご家族・地域の健やかな暮らしに貢献するという「社是」や「経営理念」を事務所に掲示し、施設独自に「楽しく仕事をする」をモットーに介護の現場を明るく笑顔にして、アットホームな生活の場にするを目指している。今年度は自主的に利用者と一緒に地域のゴミ拾い活動に取り組み、地域の方からの声かけや挨拶も増えてくるなど地域との交流が深まっている。また、コーラスボランティアの導入、近隣小学校の音楽コンサートに招待を受ける等、ボランティアや子ども達との交流も図られている。ホーム内でも納涼祭やクリスマス会などの行事を催し、楽しく快適に生活できるよう支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	お客様、ご家族、地域の「健やかな暮らし」に貢献する。という社是の元、いま自分達に出来る事を考え、地域に根付いた事業所を目指しています。	お客様・ご家族・地域の健やかな暮らしに貢献するという「社是」や「経営理念」を事務所に掲示し、施設独自に「楽しく仕事をする」をモットーに介護の現場を明るく笑顔にして、アットホームな生活の場にする事を目指している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年近隣小、中学校の職業体験の受け入れを行っています。また、事業所行事の際にもチラシを作成し戸別に訪問、手渡ししながら騒音などに対するご理解、ご協力を頂けるようお願いしております。	毎月地域のゴミ拾いを自主的に実施し、最近では近所の方の声かけや挨拶が増えている。当地区には自治会がなく、自治会行事が開催されないので、交流を持つ機会が得られないが、小学生や中学生の職場体験の招聘や小学校の卒業コンサートに招待されたり、近隣の学校との交流を行っている。	施設行事へのお誘いを通して地域住民との交流に向け前向きに取り組んでいる。今後に向けてもこれまでの活動を継続し、より交流が深まっていく事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現状出来ておりません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ではご利用者様の状態を数値化してご報告しております。また、会議と会議の間の出来事を映像化し行事の様子や普段の生活の様子をご報告させて頂き、ご意見等頂戴しております。	運営推進会議には、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、薬局、歯科医師等の参加を受け2カ月に一度開催している。会議では参加者との意見交換を通じ情報収集し、サービス向上につながるよう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市、地域包括支援センター、地区在宅介護支援センターとこまめに連絡を取り協力関係を築けるよう取り組んでおります。	市の担当者とは運営上の疑問点を電話で確認したり、新規利用者の受け入れ等で相談する等、日頃から連絡を密に取り、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は基本的に行ってはならない行為だと職員全体に啓蒙しております。施設前面の道路が狭いうえに割合と交通量が多いこともあり、お客様の安全確保の為、玄関を施錠することがあります。	内部の研修を通して、身体拘束廃止に関する職員の意識を高めている。玄関は安全のためオートロック錠としている。現状、ホーム内において身体拘束につながる事例の発生はない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止(身体拘束など)について研修などで周知する機会を設けるとともに日ごろからスタッフに啓蒙しています。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	お客様の生きていく上での当然の権利主張を円滑に行う為その必要性を熟知し活用することのできる支援を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、重要事項説明は必ず管理者、ケアマネージャーから2名以上で行い、内容の詳細に至るまでご説明することでご理解、ご納得いただけるようにしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の来訪時、電話連絡の際、ケアプランの説明時などにご意見やご要望を管理者、ケアマネージャーがお伺いし運営に反映できるよう対応しております。	家族からの意見については、来訪時(面会、イベントの開催)、電話連絡時、ケアプランの説明時に意見、要望を聞く機会を設け、それらを運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	体力、生活環境、得手・不得手等、個々の把握を行い、「やる気」を持てる、個々に合わせた勤務調整の実施を心がけています。	雇用契約更新時に管理者と個人面談を実施しているほか、管理者やリーダー層が中心となり日常的に職員に声を掛け、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。また、拠点会議後(毎月開催)に各ユニットでユニット会議を開催し、業務や支援内容について検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年間の研修計画に基づいた研修以外にも、新規採用者への研修(OJT含む)、既存スタッフへの研修等を行い、認知症介護への理解を深め、スキルアップできる機会を設けております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	船橋市グループホーム連絡会に登録し、他事業所と連携をとることのできる状況となっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	出来る限りご本人様からヒアリングを実施しております。認知症もありますのでご家族様のご意見も交えお話を伺っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お問い合わせを頂いた際にご家族様の主訴は何か、そこから派生する問題、要望、不安な気持ちを受け止められるようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネージャー、計画作成担当者を中心に担当者会議を行い、ご本人様、ご家族様が必要なサービスをベストな形で選択、利用できるようご案内しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフとお客様が一緒に炊事や洗濯、掃除など普通の生活を営んでいます。介護する、されるではなくお互いに感謝の気持ちを持って関係を築けるように努力しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	事業所の行事などに定期的にご参加の案内をしております。ご本人様や他のお客様、ご家族様同士の交流のなかで、皆で一緒に支えていくという実感を持って頂けるよう努力しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居後は常識的な範囲内で時間、曜日問わず家族、友人、知人の訪問を受け入れております。	利用者との日常的な会話から馴染みの場所などの情報を得て、これまでの関係の継続に努めている。具体的には友人の来訪や手紙、電話などの取り次ぎや家族の協力を得て美容院の継続利用、帰宅や月命日の墓参り、外食等を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆で一緒に散歩に出たり、レクリエーションをしたりとお客様同士のコミュニケーションを図れるように支援しております。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続的に関わりの必要なお客様やご家族様には定期的にケアマネージャーよりご連絡をさせていただき、近況をお伺いしております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様、ご家族様の希望や意向を把握し、それを第一にケアプランの作成を行い、マネジメントしております。	利用者からの意向については、日頃の会話や表情から一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、また家族等の協力を仰ぎその把握に努めている。困難な場合は、家族に相談の上、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本的にはケアマネージャー(場合によって計画作成担当者)がフェイスシートを作成しスタッフに情報提供し、共有できるようにしています。個人台帳は事務所内のキャビネットに保管し何時でも閲覧できるようにして情報収集を促しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りや管理者の定期的な現場訪問で左記の状態を把握するように努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様、提携機関、ケアマネージャー、管理者、スタッフ等の意見を取り入れ介護計画を作成し、実際のケアに組み込んでおります。	利用者の現状や課題、要望等をアセスメントで抽出し、担当者会議、ケースカンファレンスを通して本人、家族、職員の意見を収集し、総合的な意見を踏まえケアプランを作成している。また、毎月モニタリングを行い、達成状況や利用者満足度を確認している。	今後に向けては、ケアプラン作成時に担当医や看護師の意見を取り入れる等、他職種連携でケアプランを作成できると良いであろう。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌、業務日誌の記録を日々行い、内容のチェックを管理者が行っております。スタッフが共有すべき事柄は申し送りノートに記録し、情報共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日頃よりご連絡した際や訪問して下さった際にご要望を伺っており、何かあった際には気兼ねなくお伝えいただけるようお願いしております。ご要望があった際には出来る限り対応できるよう努力しております。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用、協働については出来ておりません。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	お客様、ご家族様のご希望を大切に、今までのかかりつけ医、往診、専門医など適切な医療を受けられるよう支援しています。	提携医療機関の往診を月2回受け入れている。医療機関とは24時間連絡が取れる体制にあり、急変時にも迅速な対応が図れる体制である。また提携先以外にも利用者が希望する医療機関にかかることも可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内での状況を書面にし、通院などで適切な医療、看護を受けられるよう情報提供に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様の主治医、市内及び近隣の病院のソーシャルワーカーなどと連絡を取り関係の構築に努めています。またご利用中のお客様が入院される場合等情報提供を行い、入院中も安心してお過ごし頂けるよう支援しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	左記の通り実施しています。	重度化や終末期に向けた方針に関しては、出来る限り早い段階から事業所でできることを説明している。ホームで生活していく中で重度化が見られる場合は、家族、主治医を交え、今後の支援方針を検討することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成、ファイリングしフロア内に保管しており、緊急時に対応できるよう備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練(夜間、昼間)は年2回、近隣の消防署にご協力を頂きながら年間研修計画の中で実施しております。地域住民の方々への働き掛けは今後も課題として継続させていただきます。	消防訓練は年2回実施しており、消防署と連携した夜間想定通報、避難訓練のほか、消火訓練を実施している。備蓄品には、米1、飲料水、カセットコンロ(ボンベ)を準備している。	災害時を想定した備蓄品の確保及び家族の方に利用者の安否をどのような手段で伝えていくのかより明確になる事が望まれる。

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	実施しております。	内部研修において「接遇マナー」や「就業倫理」について実施している。会社方針として利用者は「お客様」であり、そのお客様に対し適切な言葉遣いや思いやる気持ちで接遇するように会議や申し送り時に職員に周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の意思決定に問題の無い方はもちろんのこと、何らかの障害がある方にも筆談や文字盤の利用等で、自己決定の出来る機会を設けることが出来るよう支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が入所される前に暮らしていた普通の暮らしを入所後も継続できるよう「見守り」を重視し「待つ」ことの出来るケアを方針として打ち出しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理容を予約してご利用頂いています。ご自身で整容を行える方にはご自身の意思にお任せし、行為自体に障害が伴う方には介助にて行って頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様と同じ食事をスタッフも共に摂り、楽しい食事時間となるよう配慮しております。また行事で植えた野菜と一緒に収穫し食事に盛り込んだり、炊事や食器の片付けも一緒に行っています。	利用者一人ひとりが出来る範囲で協力しながら、職員と一緒に、食材の皮むきや食器洗い等を行っている。食材は宅配で届くが、利用者の好みや状態に合わせミキサー食、とろみ食にて提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量はその都度チェックし記録に残すようにしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お客様全員に歯ブラシを持参して頂き、食後は口腔ケアのお声掛けをし行って頂いております。ご自身で口腔ケアが行えない方にはスタッフが対応させて頂いております。		

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介助が必要でも尿意、便意がある方には意思表示をして頂くようお願いしております。意思表示が出来ない、尿意、便意が無い方には定期的な誘導を行い支援しております。	個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンを共有している。排泄の支援では、定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の目安(一日1,000cc超)をスタッフに周知し、少しずつでも摂って頂けるよう支援しています。また散歩、体操(嚙下体操含む)への参加の促しを行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴のチェックシートを記入し、入浴予定者をスタッフが考えるようにしておりますが、ご本人様の意思にそぐわなかったり、体調がすぐれない等の理由があった場合はそれに沿ったケアを行っています。	入浴は、利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回入浴できるように支援している。入浴中は職員が介助につき安全面に十分配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の休息や入眠パターンを把握し快適な休息、睡眠をとって頂けるように努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬品管理は事務方が対応しております。お客様ごとの処方薬については薬局からの説明書を事務所でファイリングし閲覧できるようにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様がご希望されている際はレクの一環として実施しております。また集団レクへの参加促しや残存機能を活かせる環境を提供することもしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り外出の機会を増やせるよう努力しております。長距離を歩くことが難しい方もベランダやウッドデッキ、玄関などを利用し外の空気でリフレッシュできるよう支援しております。	地域のゴミ拾いに利用者と参加する等、できる限り外出の機会を増やす事ができるように努めている。また、ウッドデッキやホーム玄関先で日光浴ができるように支援する等、できる限り、外の空気に触れる機会の提供に努めている。	日常的ホーム周辺の散歩にお連れしたり、定期的に外出行事を実施する等、利用者の希望も把握しながら戸外活動の充実に期待したい。

グループホームガーデンコート西船橋(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の状況を鑑み、場合によってはご自身で所持して頂いております。自己管理が難しい方は当施設にてお預かりしご本人様が使いたいときに自由に使って頂けるケアを行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご希望で施設内の電話をご利用頂けます。手紙もご要望があればお出し頂けます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂にその季節に合った装飾をしたり、お客様と一緒に作ったカレンダーやぬりえ、行事の写真を掲示する等し、居心地がよいと思っ頂けるよう努めております。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	コミュニティスペースを開放しており、自由にご利用頂けます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	実施しております。	居室は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものの持ち込みを可能とし、利用者が居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりが設置しており、バリアフリーとなっています。お客様の安全を確保しながら、残存能力を活かし自立した生活が送れるようになっています。		